平成２６年度 協働のための職員研修
受講者アンケート結果（９月実施分）

本市では平成２０年度より、職員の協働に対する意識の向上を図るとともに、参画と協働によるまちづくりを推進するために協働のための職員研修を行っています。
平成２６年度は、課長補佐級以下の職員を対象として地域自治協議会についての講義研修を実施するとともに、会議等を円滑に進行するのに役立つファシリテーション能力の習得を目ざしグループワーク研修を実施いたしました。
このたび、研修で実施したアンケートを集計し、分析した結果を取りまとめました。この結果を踏まえて、今後の協働の取り組みの推進に活かしていきたいと考えております。
なお、２月に全管理職を対象に地域自治協議会についての講義研修を実施する予定です。

１．研修の日程及び講師

実施日時	講師	形式	対象	受講人数
平成26年9月16日(火) 10:00～11:30	中川　幾郎氏 帝塚山大学 名誉教授	講義	課長補佐級以下の職員 （現業職員・嘱託職員・教職員などを除く）	47名
平成26年9月16日(火) 13:15～15:15 平成26年9月17日(水) 10:00～15:15	川中　大輔氏 シチズンシップ 共育企画代表	グループワーク		

２．各対象ごとの集計

【講義・グループワーク(課長補佐級以下の職員)】

受講人数　４７人　　アンケート回収枚数　４６枚　　回収率　９８％

イ．受講者の所属部及び役職

〈所属部別〉

総合政策部	2	環境部	3
総務部	3	観光経済部	3
財務部	3	都市整備部	3
市民生活部	4	建設部	3
市民活動部	6	会計契約部・会計課	2
保健福祉部	3	教育委員会・教育総務部	2
子ども未来部	4	学校教育部	2
保健所	3	各種委員会	1
		合計	47

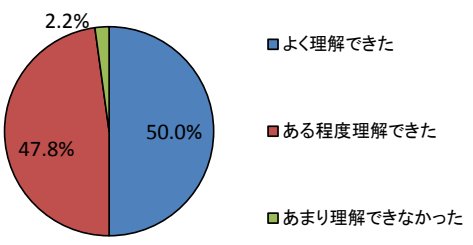
ロ．研修の理解度

（ロ－１）　理解度（講義研修）

設問　：　今回の研修の内容は理解できましたか。(9月16日　午前実施　講義研修)

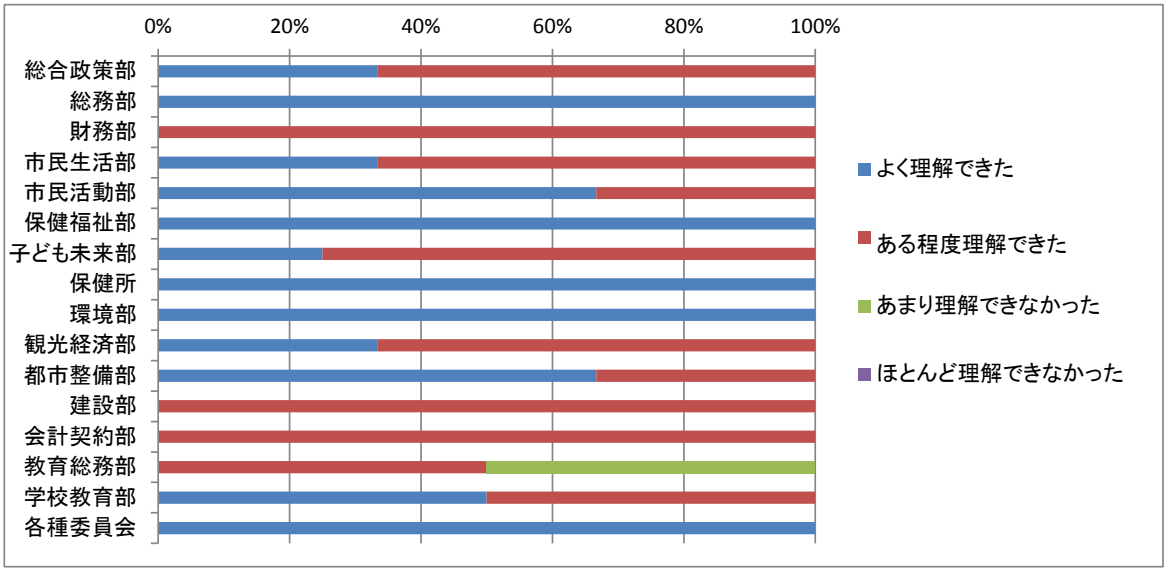
回答		回答数	割合
1	よく理解できた	23	50.0%
2	ある程度理解できた	22	47.8%
3	あまり理解できなかった	1	2.2%
4	ほとんど理解できなかった	0	0.0%
合計		46	100.0%

（図1）



（部局別集計）

（図2）



（ロ－２）　理解できなかった点

設問　：（ロー1）で3･4を選んだ方は、理解できなかった点をお選びください。（複数回答可）

回答		回答数
1	内容に具体性がなかった	0
2	内容が専門的で難しかった	1
3	その他	0

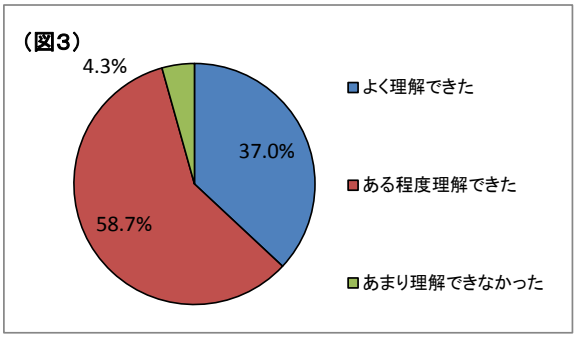
（解説）
地域自治協議会についての講義研修を「よく理解できた」または「理解できた」と回答した職員は、全体の97．8%となり、受講した課長補佐級以下の職員の多くが研修を理解できたと感じたことがわかります。
一方で、「あまり理解できなかった」･「ほとんど理解できなかった」と回答した職員は1名のみでしたが、「内容が専門的で難しかった」という理由が挙がりました。

（ロ－３）　理解度（グループワーク研修）

設問　：　今回の研修の内容は理解できましたか。（9月16日　午後･9月17日実施　グループワーク研修）

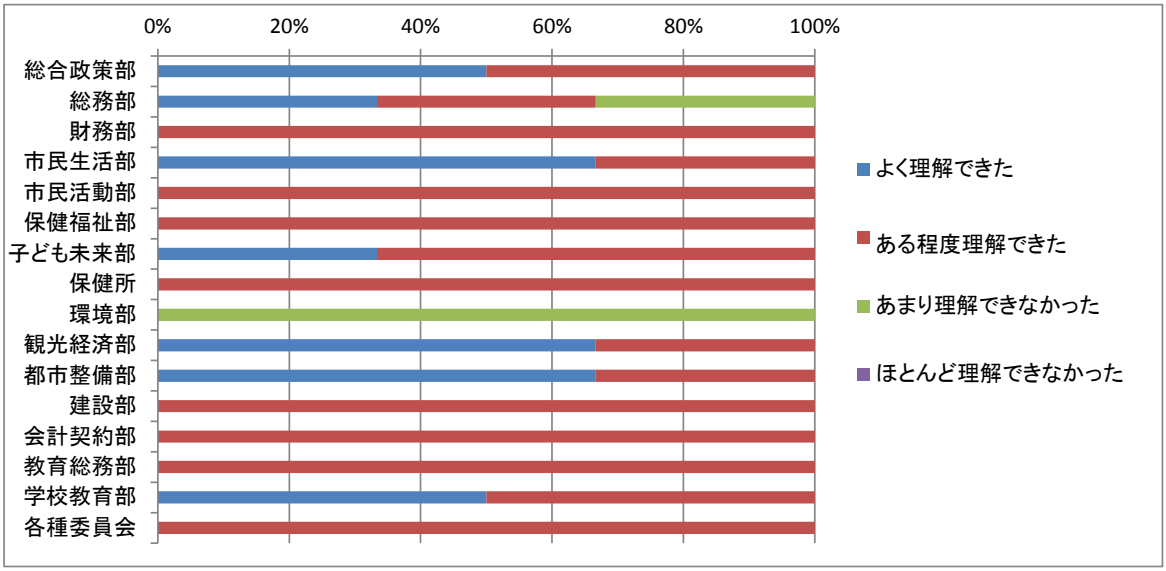
回答		回答数	割合
1	よく理解できた	17	37.0%
2	ある程度理解できた	27	58.7%
3	あまり理解できなかった	2	4.3%
4	ほとんど理解できなかった	0	0.0%
合計		46	100.0%

（図3）



（部局別集計）

（図4）



（ロ－４）　理解できなかった点

設問　：（ロ－３）で3・4を選んだ方は、理解できなかった点をお選びください。（複数回答可）

回答		回答数
1	内容に具体性がなかった	2
2	内容が専門的で難しかった	0
3	グループワークが進まなかった	0
4	その他	0

（解説）
ファシリテーション能力の習得を目ざしたグループワーク研修を「よく理解できた」または「理解できた」と回答した職員は、全体の95．7%となり、受講した課長補佐級以下の職員の多くが研修を理解できたと感じたことがわかります。
一方で、「あまり理解できなかった」・「ほとんど理解できなかった」と回答した全体としては少数でしたが、「内容に具体性がなかった」という理由が挙がりました。ファシリテーションをどのような場面で用いるべきか、イメージが浮かぶように具体的な事例等を紹介する必要があります。

ハ．研修テーマの認知度

（ハ－１）　地域自治協議会の認知度

設問　：　研修を受講する前に地域自治協議会について知っていましたか。

回答		回答数
1	名称も中身も知っていた	5
2	名称だけ知っていた	22
3	全く知らなかった	19
4	その他	0

（解説）
「名称も中身も知っていた」という回答は少数でした。普段の業務で自治会などの団体と関わることの少ない職員にとって、地域自治協議会は馴染みの薄いものだったようです。

（ハ－２）　ファシリテーションの認知度

設問　：　研修を受講する前にファシリテーションという言葉をご存知でしたか。

回答		回答数
1	知っていた	17
2	聞いたことはあった	16
3	全く知らなかった	13
4	その他	0

（解説）
「知っていた」「聞いたことはあった」「全く知らなかった」という職員が同数程度存在しましたが、認知度が高いとは言えない状態でした。今後、ファシリテーターの役割や必要性を今後さらに広めていく必要があります。

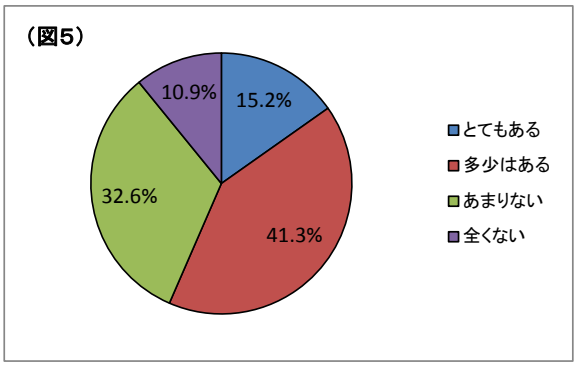
ニ．まちづくりファシリテーター制度

（ニ－１）　制度への関心

設問　：　奈良市で募集するまちづくりファシリテーター制度に関心はありますか。

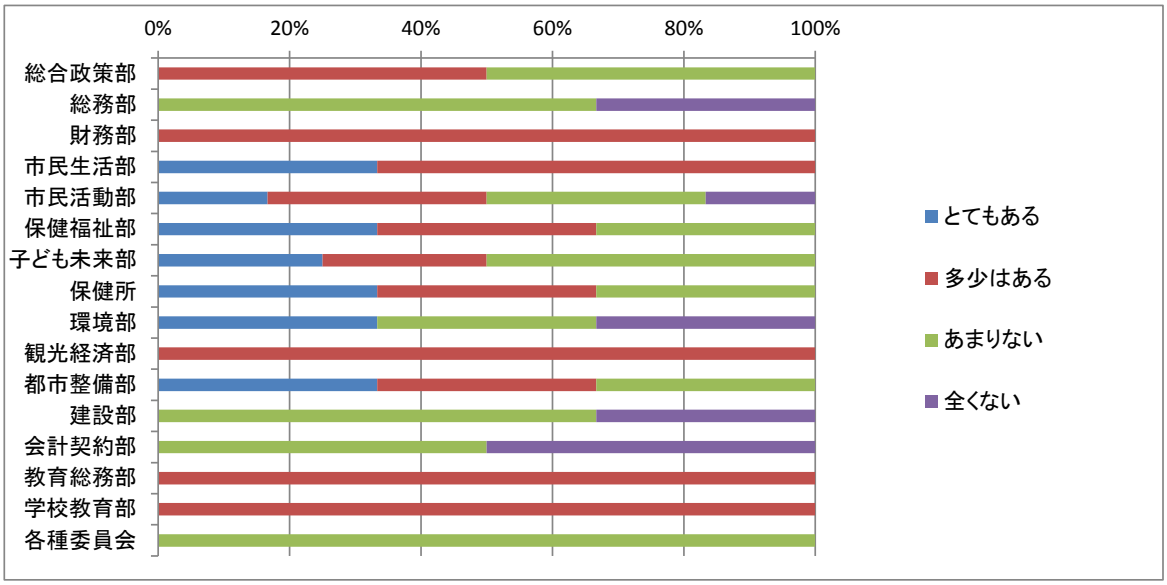
回答		回答数	割合
1	とてもある	7	15.2%
2	多少はある	19	41.3%
3	あまりない	15	32.6%
4	全くない	5	10.9%
合計		46	100.0%

（図5）



（部局別集計）

（図6）



（ニー２） 応募意志の有無

設問 ： （ニー１）で1・2を選んだ方は、まちづくりファシリテーターに応募しようと思いますか。

回答		回答数
1	応募する	0
2	メリットがあれば応募する可能性がある	10
3	日常業務に支障がなければ応募する可能性がある	13
4	応募するつもりはない	3
5	その他	0
合計		26

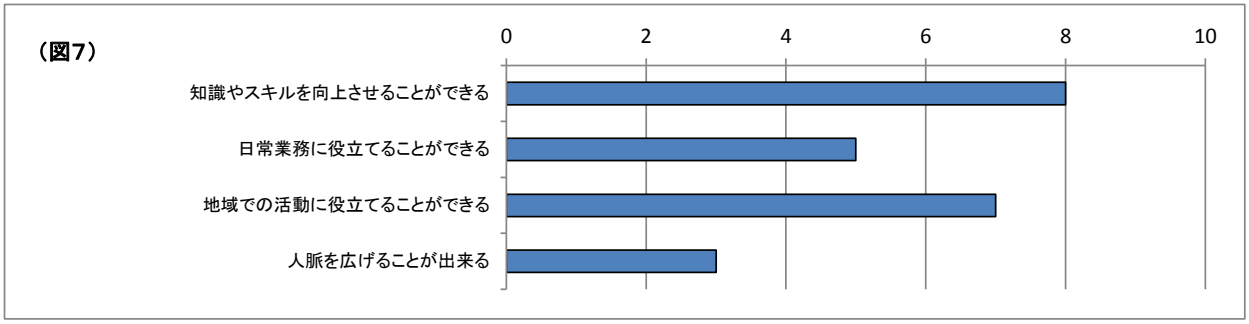
（ニー３） 応募するためのメリット

設問 ： （ニー２）で2を選んだ方は、どのようなメリットがあればまちづくりファシリテーターに応募しようと思いますか。（複数回答可）

（複数回答可）

回答		回答数
1	知識やスキルを向上させることができる	8
2	日常業務に役立てることができる	5
3	地域での活動に役立てることができる	7
4	人脈を広げることが出来る	3
5	その他	0

（図7）



（解説）
過半数の職員がまちづくりファシリテーター制度に関心を持ってくださいましたが、日常業務とまちづくりファシリテーターを両立できるかということを懸念している方が多く見られました。

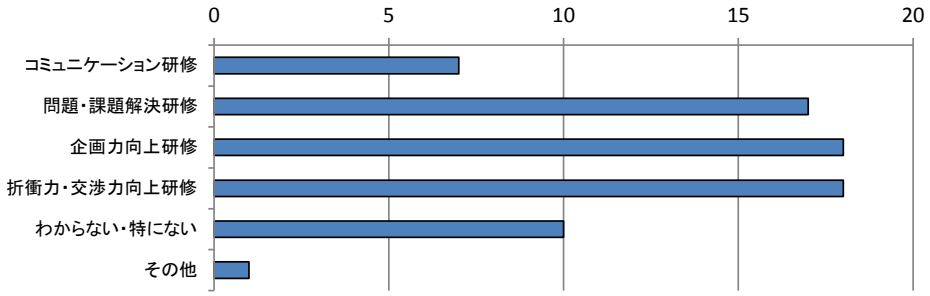
ホ．研修に取り入れるべき内容

設問 ： 今後、受講したい研修があれば教えてください。（複数回答可）

（複数回答可）

回答		回答数
1	コミュニケーション研修	7
2	問題・課題解決研修	17
3	企画力向上研修	18
4	折衝力・交渉力向上研修	18
5	わからない・特にない	10
6	その他	1
	無回答	3
合計		74

（図8）



（解説）
「その他」の回答は「外交力研修」でした。

３．アンケート結果総括

「平成２６年度協働のための職員研修」は、９月に課長補佐級以下の職員を対象とし、地域自治協議会についての講義研修とファシリテーション研修を実施しました。なお、今回の研修に加え、２月に全管理職を対象とし地域自治協議会についての講義研修を実施します。

現在、社会構造の変転などによって住民ニーズは多様化、複雑化し、地域の特性を活かした自治を行うためには住民が主体となって話し合いを行い、まちづくりを進めていくことが不可欠となっています。奈良市においても住民自治の強化を目的とした地域自治協議会の設立が目ざされており、行政職員も地域の中に入って地域課題を抽出するとともに、一緒に考えていく役割が求められています。奈良市では今後、地域の対話の場で議論の促進を促す「まちづくりファシリテーター」を全庁的に募集し、地域に派遣する予定となっています。

今回の研修を受講した職員の方々には、地域自治協議会の内容を理解していただけたと感じましたが、事前に地域自治協議会についての知識を持っていた職員は少数であり、今後幅広く周知していく必要性を感じました。アンケートの中にも、日頃から職員ポータル（掲示板）などを利用して継続的に地域自治協議会についての周知徹底を図るべきであるという意見がありました。

「まちづくりファシリテーター」に応募された職員には、ファシリテーション能力以外にもコミュニケーション能力や課題解決能力など様々な能力を身につけていただき、最終的には地域の総合的なコーディネーターになってほしいと考えています。今回の研修でまちづくりファシリテーターに関心を持ってくださった職員は、地域活性化や地域福祉など日頃から地域との協働が欠かせない業務に携われている方が比較的多数でしたが、率先して地域に関わり、まちづくりに携わろうとする意欲は全ての職員に求められるものであり、意識を少しずつ変えていく必要性を感じました。